

令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 羽津

地区内 No 3 事業名 子育て支援講座開催事業

1. 課題と方策

羽津地区は市内でも高齢化率が低く、若い世代が多い地区であり、子育て世代も多い地区であることから、楽しく安心して子育てできる環境づくりを支援するために、妊婦や子育て中の親子を対象に講座を開催する。また、子育ての一環として、子どもの自立を図るために小学生を対象とする料理教室の実施を支援する。

2. 実施内容

実施状況

■実施 □中止→ □コロナ／□その他

実施方法（委託の場合は委託先）

□直営 ■委託（羽津地区まちづくり推進協議会）

（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）

1. 妊婦および未就学児を子育て中の親子を対象に、マタニティヨガや親子バランスボールなどの講座を開催し、子育て世帯間のつながりを持って安心して子育てしてもらうとともに、楽しく子育てできるよう支援した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、当初予定していた回数を開催できなかったが、感染状況を伺い、感染防止策（手指消毒、換気等）を取りながら、講座を開催した。

講座 ①ベビーマッサージ講座、②親子バランスボール講座、③親子ヨガ講座、
④マタニティヨガ講座、⑤バレトン教室

7月以降、毎月5回で45回を予定したが、計34回の開催であった。

2. センターの調理室において開催する子ども向け料理教室で試食することができるように、アクリル板の衝立等を整備した。

教室は、1月と3月に予定していたが、新型コロナの状況から開催を見送った。

3. 事業費実績

356千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
子育て支援講座開催事業	委託料	244,270	開催事業費、講師謝礼
感染防止対策	需用費	112,084	アクリル板、非接触温度計
合 計		356,354	

4. 効果

指標

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)
参加者数	200組	98組

講座に参加することにより築いた住民同士のつながりを、子育て中で終わらせることなく継続させることにより、世代を超えてみんなで子育てできるまちをつくる。



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名

羽津

地区内 No

4

事業名

ふれあい広場活用支援事業

1. 課題と方策

羽津地区は、子どもが多い地区であるが、安全に安心して遊べる場所が少ないことから、糠塚山を市民緑地として住民が管理し、里山として保全するとともに、子どもが安全安心に遊べる場所として整備を進めている。この市民緑地を地区住民にとってより身近な場所として利用してもらえるように、地区の小中学生等を対象に竹あかり製作講座を開催し、作品を糠塚山で展示発表して、来場する人に鑑賞してもらう。

2. 実施内容	実施状況	■実施 ☐ 中止→ ☐ コロナ／ ☐ その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	☐ 直営 ■委託（羽津地区まちづくり推進協議会）

（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）

NPO法人緑の会羽津から講師を招き、羽津地区市民センター、羽津小学校で竹あかり製作講座を開催した。羽津北小学校、羽津中学校での講座も計画したが、新型コロナウイルス感染症の状況から見送った。両校の児童、生徒で希望する子は、羽津地区市民センターでの講座に参加してもらった。

製作した作品は、3月5日（土）、6日（日）に開催した「額突山市民緑地まつり」で展示した。

同まつりでも、5日午後に竹あかり製作体験を開催し、ここで作った作品も展示した。

鑑賞会には、子どもの作った竹あかりを祖父母親子の三世代で見に来た家族の姿もあった。

<竹あかり製作講座> 10月28日（木）、1月16日（日）、30日（日）、2月19日（日） 羽津地区市民センター

3月 1日（火） 羽津小学校

<竹あかり鑑賞会> 3月 5日（土）17:30～ 額突山市民緑地

3. 事業費実績

400千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
ふれあい広場活用支援事業	委託料	400,092	講座開催、竹あかり展示開催
合 計		400,092	

4. 効果

指標

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)
講座参加者数	400人	206人

令和3年3月に開設した額突山市民緑地がプレーパークとして、また地区住民のふれあい広場として、住民自らが整備、管理運営していけるよう支援を続ける。



(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付)



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 日永

収 蔵 品（一部）

地区内 No	事業名
	日永郷土資料館移転応援事業

1. 課題と方策																															
東海道の歴史を訪ねて、四日市市を訪れる人は多い。その中で、日永の歴史を紹介する施設として「日永郷土資料館」は年2～3,000人の来館者がある。 現在の資料館は、地権者から立ち退きを求められているが、新たな移転先が確保できていない。移転先が確保できた場合は、所蔵品等を移転し資料館を再開すると共にマップ等の改定作業を行う。移転先が確保できなかった場合は、移転先が確保できるまでの間、所蔵品を倉庫に一時的に移転・保管する。																															
2. 実施内容	実施状況	☒ 実施 ☐ 中止 → ☐ コロナ / ☐ その他																													
	実施方法（委託の場合は委託先）	☐ 直営 ☒ 委託（ 日永地区郷土史研究会 ）																													
（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください） 日永郷土資料館の移転先が、土地家屋賃借期間満了時（2021年8月31日）までに確保できなかった。そのため、所有する収蔵品等を 小古曽東一丁目1-7 敷地内倉庫に一時移転し保管した。収蔵品は、日永地区郷土史研究会員が保管状況を定期的に確認し、清掃や劣化等の調査を行い適切に管理する。 現在も資料館の早期再開に向け、日永地区まちづくり推進協議会と協議しながら候補地の調査・交渉活動を進めている。 ○貸与による収蔵品：所有者に経緯を説明し、所有者に一時返還。 ※資料館再開時、再貸与依頼済。 ○収蔵品の一部：地区内の小中学校、地元消防団等に収蔵品の一部を寄贈。 ○処分品：劣化の進んだガラスケースや展示用木製棚等の一部を処分。																															
3. 事業費実績		150,000 千円																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業項目(種目)</th> <th rowspan="2">支出科目</th> <th rowspan="2">支出金額</th> <th colspan="2">金額単位:円</th> </tr> <tr> <th colspan="2">内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">日永郷土資料館移転応援事業</td> <td rowspan="2">委託料</td> <td rowspan="2">150,000</td> <td>移転費用</td> <td>130,000</td> </tr> <tr> <td>消耗品等</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">印刷製本費</td> <td rowspan="3">0</td> <td>マップ</td> <td>350,000</td> </tr> <tr> <td>絵はがき</td> <td>41,000</td> </tr> <tr> <td>看板修正</td> <td>35,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>150,000</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>				事業項目(種目)	支出科目	支出金額	金額単位:円		内訳		日永郷土資料館移転応援事業	委託料	150,000	移転費用	130,000	消耗品等	20,000		印刷製本費	0	マップ	350,000	絵はがき	41,000	看板修正	35,000	合 計		150,000		
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	金額単位:円																												
			内訳																												
日永郷土資料館移転応援事業	委託料	150,000	移転費用	130,000																											
			消耗品等	20,000																											
	印刷製本費	0	マップ	350,000																											
			絵はがき	41,000																											
			看板修正	35,000																											
合 計		150,000																													
4. 効果		指標 2,000 人/年間来館者	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>目標</th> <th>実績(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移転回数</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			指標	目標	実績(見込)	移転回数	1回	1回				当該資料館は、歴史と魅力を発信する施設であり、早期再開に向けた取り組みを行う。																			
指標	目標	実績(見込)																													
移転回数	1回	1回																													



(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付)

移転作業の様子



移転先の保管の様子



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 四郷

地区内 No 1 事業名 高花平小林町まちづくり事業「防災でふれあい」

1. 課題と方策

課題 団地再生や活気あるまちづくりを目指す連合自治会を始めとする地域団体の取り組みをさらに進める必要がある。

方策 地区の防災訓練が自治会と小学校との共催で行われるようになったことをふれあいの機会と捉え、大人と子どもが協力して体験するメニューを加えた防災訓練を実施する。

2. 実施内容

実施状況 ☒ 実施 ☐ 中止 ☐ コロナ／☐ その他
 実施方法（委託の場合は委託先） ☐ 直営 ☒ 委託（高花平小林町連合自治会）

（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）
 本事業は令和元年に実施し、継続して令和2年度も実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防のため、実施を断念したものである。

本年度は、令和元年度に実施した訓練メニュー（ダンボールベッド組立体験、かまどベンチを使用している非常食炊き出し体験、非常食試食）を指導体制や資材などをさらに充実させ、自衛隊炊飯部隊を招いての炊き出し訓練などを、令和4年1月15日（土）に実施する予定で準備を進めていた。しかしながら令和4年に入って急速に新型コロナウイルス感染症が拡大したことにより、やむなく前々日に当初の予定を変更して事業の見直しを行い、地域住民の参加が取りやめとされた。

大人と子どものふれあいという所期の目的はかなわなかったが、自治会役員による地震車体験や自衛隊の四日市事務所長による活動紹介が行われ、子どもたちの防災意識を養うことにつながった。

3. 事業費実績

353千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
高花平小林町まちづくり事業「防災でふれあい」	委託料	352,467	テント、消耗品等

4. 効果

指標

指標	目標	実績(見込)
地域住民参加者	200人	5人(自治会役員のみ参加)

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなることを前提に、今年度計画した大人と子どもが協力して体験するメニューを含んだ事業を実施する予定である。



【打合せの様子】



【地震車体験の様子】



【自衛隊の活動紹介の様子】

令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 塩浜

地区内 No	2	事業名	塩浜地区の魅力を伝える写真コンテスト
--------	---	-----	--------------------

1. 課題と方策																																	
塩浜地区には、いまだに四日市公害のイメージが残っている。工場夜景や磯津海岸からの朝陽や夕陽を見るため、訪れる方もいる。特に大晦日から元旦にかけては、セントレア方面から昇る初日の出をみるため市内外から約600人以上の方が磯津海岸に訪れる。塩浜地区には、自然、風景等さまざまな魅力があり、写真コンテストを通じて公害のイメージを払拭し、地区のイメージの向上と効果的な情報発信を行う。																																	
2. 実施内容	実施状況	■実施 □中止→ □コロナ／□その他																															
	実施方法（委託の場合は委託先）	□直営 ■委託（塩浜まちづくり協議会）																															
（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）																																	
1. 作品募集期間：令和3年7月20日～10月7日 周知方法：チラシ・ポスター作成、中日新聞ホームニュース（8月8日号）掲載等 2. 作品応募：応募人数56人、応募作品147作品 （昨年度 応募人数50人、応募作品143作品、一昨年度92作品） 3. 作品展示 ①今・昔しおはま写真展（令和3年10月24日）【新規展示場所】 会場：昭和四日市石油体育館 ②三浜文化会館アートまつり（令和3年11月14日）【昨年度展示場所】 会場：三浜文化会館ロビー ③近鉄塩浜駅掲示板（令和3年11月18日～令和4年2月18日）【昨年度展示場所】 会場：近鉄塩浜駅改札横掲示板 ④中日新聞中日ホームニュース（令和3年11月27日発行第869号）【新規展示場所】																																	
3. 事業費実績		196,762円																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業項目(種目)</th> <th>支出科目</th> <th>支出金額</th> <th>金額単位:円 内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">塩浜地区の魅力を伝える写真コンテスト</td> <td>委託料</td> <td>196,762</td> <td>写真展示・賞品 119千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>審査会 5千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>ポスター・チラシ 49千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>その他(郵送代等) 6千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td></td> <td>196,762</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業項目(種目)		支出科目	支出金額	金額単位:円 内訳	塩浜地区の魅力を伝える写真コンテスト		委託料	196,762	写真展示・賞品 119千円					審査会 5千円					ポスター・チラシ 49千円					その他(郵送代等) 6千円	合 計			196,762	
事業項目(種目)		支出科目	支出金額	金額単位:円 内訳																													
塩浜地区の魅力を伝える写真コンテスト		委託料	196,762	写真展示・賞品 119千円																													
				審査会 5千円																													
				ポスター・チラシ 49千円																													
				その他(郵送代等) 6千円																													
合 計			196,762																														
4. 効果		指標	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）																														
指標	目標	実績(見込)	3年間の事業は終了したが、年々応募数も増えてきており、来年度も可能であれば地域において、継続して、塩浜地区の魅力を地区外にも発信していきたい。																														
応募作品数	143点	147点																															

(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を添付)

(別添写真)

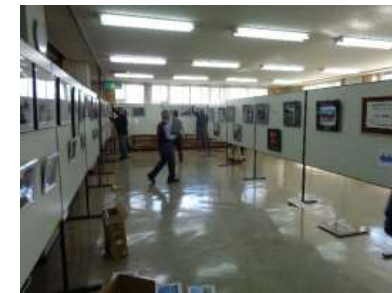
○塩浜駅掲示板への募集ポスター掲示



○審査会写真



○写真展示：今・昔しおはま写真展





○写真展示：三浜文化会館アートまつり



○写真展示：塩浜駅掲示板



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 小山田

成果品「令和3年度 四日市市小山田地区小規模地域別人口推計調査業務 報告書」
(一般財団法人 地域活性化センター)

地区内 No	1	事業名	小山田地区まちづくり構想の具体化に向けた支援
--------	---	-----	------------------------

1. 課題と方策

地域の人口について、現状のまま推移した場合どうなるか？どのくらい改善すればよいか？

具体的な数字を用い理解しやすい形で示すことで、地域において問題意識の共有が図られ、地域住民のまちづくりへの積極的な参加につながるものと考える。

「小山田地区まちづくり構想」に掲げる基本理念や基本目標の達成に向け、小山田地区を対象とした人口推計調査を独自に行うことで、地域の課題を可視化し、地域における効果的・具体的な取り組みへとつなげることを目的として、調査・研究などのコンサルティング支援を行う。

「小山田地区まちづくり構想における位置づけ」

第4章 まちづくり構想の実現に向けて

1. 推進体制 , 2. 意識の共有と協働によるまちづくり

2. 実施内容	実施状況	■実施 □中止→ □コロナ／□その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	□直営 ■委託（一般財団法人 地域活性化センター）

小山田地区の人口は近年、自然減と社会減の傾向が続き、4,427人（2020年4月時点）となっている。今回、実施した人口推計シミュレーションより、将来の推計人口を見ると、地区内の各町ごとで差はあるものの、六名町、美里町を除きいずれも年少人口と生産年齢人口が著しく減少する見込みであり、ほとんどの町において高齢化率が上昇する結果となっている。特に小山町、内山町において人口が大きく減少することが推測される。小山町では30年間で人口の63%以上、年少人口の82%以上が減少し、将来的な高齢化率は50%を超えると推測される。内山町では30年間で人口の69%以上、年少人口の66%以上が減少し、高齢化率は46%を超えることが推測される。

人口が減少することで将来的な地区の存続や、行政サービスの確保が困難になることが懸念されるため、今後のまちづくりのあり方などについて、改めて人口推計を土台として考える必要がある。

このような状況を踏まえ、地区内の各町ごとの特徴や課題を考慮し、特定の世代・世帯の流入等を想定した人口動態シミュレーションを実施した。その結果、いずれの各町も主に30代前半の子育て世帯の流入増・流出減を図ることで、将来にわたりバランスの良い人口構成になると見込まれる。

一方で、60代前半夫婦の流入増・流出減を図っても、人口の安定化は図れるが、生産年齢人口や年少人口の減少傾向の改善は見られなかった。

3. 事業費実績

397,920 円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
人口推計調査業務	委託料	397,920	委託先： (一財) 地域活性化センター
合 計		397,920	

4. 効果 指標

指標

目標

実績(見込)

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

実施することが効果的と考えられる調査・研究手法や事例について整理を行う

1 事例以上

2 事例

シミュレーション結果より、主に30代前半の子育て世帯の流入増、流出減を図ることで、将来にわたりバランスのよい人口構成になると見込まれる。この地域の課題を踏まえとともに、住民の意見を反映した目標を設定するなど、住民の当事者意識の醸成が図られるようセンターとしてサポートを行っていく。



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 川島

地区内 No	1	事業名	大門山とシデコブシ群落の魅力向上のための整備事業
--------	---	-----	--------------------------

1. 課題と方策

川島地区の代表的な里山である大門山に散策ルートの案内看板が設置されているが、設置から年数が経過し劣化や損傷が著しく、山頂にある看板はフレームの腐朽も進んでいる。

また、大門山に隣接するシデコブシ群落は奥まったところに存在しているため、そこに至るまでの進行方向が分かりにくい状況にある。

このため、訪れる人々が迷うことなく散策できるよう、ルート案内看板を設置・更新するとともに、草刈り等による散策路の整備、維持管理活動を実施し、里山の魅力向上につなげていく。

2. 実施内容

実施状況

☒実施 ☐中止→ ☐コロナノ☐その他

実施方法（委託の場合は委託先）

☒直営 ☒委託（川島地区まちづくり協議会）

川島地区まちづくり構想に基づく「美しい川島」の実現に向けた地域の取り組みを支援するため、大門山の散策ルート上に散策の進行方向を示す案内看板を設置するとともに、地域団体が山頂に設置した大門山の由緒、謂われ等を解説するための掲示板を更新した。併せて、シデコブシ群落の案内看板を設置した。

看板の材料加工及び据付け並びに既設品の撤去・処分については、川島地区まちづくり協議会に委託して実施した。（令和4年1月～2月）

また、里山の魅力向上に向けた活動の一環として、地域のボランティアを募って散策路の草刈りや竹の伐採、ごみ拾いなどの美化活動を実施した。（令和3年11月27日）

これらの取り組みにより、大門山の来訪者へのPR効果を高めるとともに、地域資源としての里山の魅力向上につなげることができた。また、ボランティアを公募して美化活動を実施したことにより、地域住民相互の交流と活動意欲の促進につなげることができた。さらに、今回の活動を契機として、里山保全等に興味を持つ新たなボランティア人材の発掘にもつなげることができた。

3. 事業費実績

365千円

事業項目（種目）	支出科目	支出金額	内 訳
看板設置	委託料	321,400 円	まちづくり協議会への委託料
美化活動	需用費	12,370 円	消耗品費 11,245 円、食糧費 1,125 円
	使用料及び賃借料	31,000 円	仮設トイレ レンタル料
合 計		364,770 円	

4. 効果

指標

参加者数 30名

5. 今後の展開（継続する場合はその必要あり）

大門山の美化活動には、鹿化川千本桜の保全活動団体として令和3年2月に発足した「かわしま・さくらもり」のメンバーも参加していることから、活動の幅を里山の維持管理にまで広げられないかの検討を今後促していく。

指標	目標	実績（見込）
美化活動参加者数	30名	14名

設置した主な案内看板〔令和4年2月2日（水）撮影〕



里山整備活動の様子〔令和3年11月27日（土）実施〕



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名

神前

地区内 No

1

事業名

地域防災活動事業

1. 課題と方策

令和元年度から、神前女性防災の会「アイリス」を支援し、女性活躍推進を後押しすることにより、地域活動に積極的に参加する人材の発掘・育成と地域の防災減災活動を行ってきた。会の認知度も上がり、地域に浸透しつつあるが、コロナ禍の中、活動も制限され、予定していた講演会、先進地視察は実施できなかった。そのため講演会のエッセンスを地区だよりへの掲載、「家庭の防災備蓄」に関するアンケートを実施するなど、地域の防災力の向上に努めた。また、今年度は、「アイリス」がみえの防災大賞の防災奨励賞を受賞し三重県知事から表彰されたのを機に、これからも様々な活動を企画実践し、防災力の向上、地域コミュニティづくりを行っていきたい。

2. 実施内容

実施状況

■実施 □中止→ □コロナ／□その他

実施方法（委託の場合は委託先）

□直営 ■委託（ 神前地区連合自治会 ）

（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）

① 手作りマスク配布事業

ワクチンを接種できない子どもが身につけたくなるような、子どもたちの間ではやりの柄のマスクを手作りし、学校・保育園を通じて配布した。（6/24 神前保育園・幼稚園100枚、7/8 神前小学校 260 枚）

② 「みえの地震津波対策の日シンポジウム

12月5日（日）桑名市の NTN シティホールにおいて開催され、その中で「みえの防災大賞表彰式」が開催され、「アイリス」が防災奨励賞を受賞した。

③ 神前地区防災講演会「岡本流 家庭の防災対策～明日を生き抜く自助の力～」【中止】

2月20日（日）に予定していたアイリス防災講演会は、四日市市に「まん延防止等重点措置」が発令されていたため中止としたが、災害時を見通した「家庭での防災備蓄」に関して、子育て世代や高齢者を対象にアンケートを実施した。（約500世帯）

④ 防災視察研修 【中止】

3月18日（金）に、山間地域の災害に重点を置いた災害対策への意識向上を図るため、名張市防災センターを訪問予定であったが、視察1ヶ月前において、「まん延防止等重点措置」がとられていたため中止としたが、視察研修で使用予定であった防災ヘルメットやヘッドライト等の防災用品はアイリス会員へ配布し、会員の防災活動の一助とした。

3. 事業費実績

437,989 千円

金額単位：円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
講演会講師キャンセル料他	委託費		キャンセル料 99 千、消耗品 19 千
アンケートにかかると啓発品	委託費		非常用トイレセット 520 ケ
アイリス視察時配布消耗品	委託費		防災ヘルメット、ヘッドライト等
合 計		437,989	

4. 効果

指標

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)
アンケート回収率	60%	60%

コロナ禍により、講演会・視察は中止となったが、女性の視点を防災活動に取り入れ、取り組んでいくことが地域の防災力向上のために不可欠であるため、引き続き積極的に活動を継続していく。

令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 桜

地区内 No	1	事業名	自然環境保護人材育成事業
--------	---	-----	--------------

1. 課題と方策			
地区まちづくり構想では、「豊かな緑と水を活かすまち」をテーマに、基本方針に「自然豊かな交流拠点を狙う」「自然と文化財を活かした地区づくり」を掲げているところであるが、自然を保全する活動に参加する人が増えてこない。今回、桜地区で収集した野鳥の写真を小冊子のまとめ地区住民に紹介することで、桜地区の魅力である自然を保全する気運を盛り上げるとともに人材発掘に寄与する。			
2. 実施内容	実施状況	☒ 実施 ☐ 中止→ ☐ コロナ/□その他	
	実施方法（委託の場合は委託先）	☐ 直営 ☒ 委託（桜地区社会づくり協議会）	
（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）			
1. 桜地区で撮影した野鳥の写真の小冊子を1000部作製 地域団体や学校、公的機関などへの配布及び記念講演会での配布…約550部 （地区社協が開催する野鳥観察会で参加者に配布する予定であったが、コロナ禍で中止になったため配布できなかった） （残部は翌年以後の地域イベント等で配布） 2. 制作記念講演会の開催 令和3年11月26日（金）19:00～20:00 桜地区市民センター 大会議室 参加人数 13人 （当初は地区住民に広く案内する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、自治会長及び地区社会づくり協議会の委員のみの案内とした。）			
3. 事業費実績		千円	
金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
小冊子印刷製本	委託料	86,440	1,000部
合 計		86,440	
4. 効果 指標		5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）	
指標	目標	実績(見込)	当冊子への地区内外の評価は高かったもののコロナ禍で地域内への自然環境保護の呼びかけは十分にできなかったため、野鳥とは別の対象を取り上げ、当取り組みを継続したい考えである。
講演会及び野鳥を見る会の参加者	50人	13人	

(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付)

小冊子「桜ウォッチング 矢合川と周辺で見られる鳥」



製作記念講演会①



製作記念講演会②



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 三重

地区内 No	2	事業名	三重西子どもの居場所づくり 【中止】
--------	---	-----	--------------------

1. 課題と方策																																													
三重西小学校区は、団地開発により形成され、現在では退職後世代が中心で高齢化が進む地域である。その一方で、現役世代は一人親世帯や外国人世帯も多く、様々な事情から放課後の学習機会が少ない子どもが少なからずいるため、地域においてこれらの子ども（中学生を想定）の学習を支援する場を設け、地域の次世代の育成を図る。また、外国にルーツをもつ子どもについては日本語の学習を行う。																																													
2. 実施内容	実施状況	☐ 実施 ☒ 中止→ ☒ コロナ／ ☐ その他																																											
	実施方法（委託の場合は委託先）	☐ 委託（三重西小学校区まちづくり構想委員会）																																											
外国籍の中学生を主な対象とした補習学習「三重西“まなび塾”事業」の着手直後に、本市が新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の区域に指定され、さらに同等の対策が継続的に講じられたことから、準備段階の事務用品等の支出のみとなった。																																													
3. 事業費実績		8. 229千円																																											
<table><tr><th colspan="2">事業項目(種目)</th><th>支出科目</th><th>支出金額</th><th>金額単位:円</th><th>内訳</th></tr><tr><td colspan="2">塾開催経費</td><td>委託料</td><td>8,229</td><td></td><td>事務用品等</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td></td><td>8,229</td><td></td><td></td></tr></table>				事業項目(種目)		支出科目	支出金額	金額単位:円	内訳	塾開催経費		委託料	8,229		事務用品等																									合 計			8,229		
事業項目(種目)		支出科目	支出金額	金額単位:円	内訳																																								
塾開催経費		委託料	8,229		事務用品等																																								
合 計			8,229																																										
4. 効果		指標	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）																																										
<table><tr><th>指標</th><th>目標</th><th>実績(見込)</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>		指標	目標	実績(見込)							子どもの居場所づくり、学習支援、子ども食堂など地域が主体となる取組みにつなげていく。																																		
指標	目標	実績(見込)																																											

令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 三重

地区内 No	1	事業名	“みえを再発見”映像とリンクさせたマップ製作
--------	---	-----	------------------------

1. 課題と方策

三重地区まちづくり構想にうたわれている、地区内の3小学校区域に共通するテーマ

① 歴史・景観を生かしたまちづくり

② 健康づくりなどウォーキングによる住みやすいまちづくり

につなげるため、既存の地図データや地域資料をまとめたマップを製作するとともに、タブレット端末の活用も意識して、子どもをはじめ幅広い世代に活用いただけるよう地区内の映像をマップとリンクさせた。

2. 実施内容	実施状況	■実施 □中止→ □コロナ/□その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	■委託（PIE MEDIA、まちづくり推進委員会）

1. “みえを再発見”動画製作事業（440,000 円） 委託先：（合）PIE MEDIA
- みえの歴史・文化を生かし、幅広い世代がまちの魅力でつながることのできる動画を製作
- ① 実施期間 令和3年7月26日から令和4年2月28日
- ② 撮影動画 御池沼沢植物群落 ・ 西坂部城跡（城山緑地） ・ 生桑千福寺
（9か所12本） ・ 三重郷土資料館（4本） ・ キオクシア（株）四日市工場
・ 三重小学校 ・ 三重西小学校 ・ 三重北小学校 ・ 大谷台小学校
- ③ 成果 小学校3年生の「昭和の暮らし」授業の中で、郷土資料館の紹介映像が活用された。
なお、動画再生は約1か月間で延べ3,300回となった。

2. “みえを再発見”マップ製作事業（279,400 円） 委託先：三重地区まちづくり推進委員会
- 自然や歴史などまちの魅力を盛り込んだふるさとマップMie流（みえる）を製作
- ① 実施期間 令和3年11月1日から令和4年2月14日
- ② マップ概要 A2判 両面カラー 名所・旧跡37か所を紹介
- ③ 成果 地区内の全戸及び幼稚園、保育園、小中学校に配布し、まちの魅力の再認識につながった。

3. 事業費実績 719,400円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
動画製作	委託料	440,000	撮影8日間、動画編集12本
マップ製作	委託料	279,400	デザイン料、印刷費11,000部
合 計		719,400	

4. 効果	指標	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）
指標	目標	実績(見込)
授業での活用	3小学校	2(見込)
地域イベント活用	1	0(来年度1)

名所・旧跡だけでなく、まちづくり構想の柱でもある安全・安心、防災面での活用も意識したマップや映像も製作し、地区内情報のプラットフォーム化にもつなげていく。

別添資料：

○撮影動画（9か所 12本）



○動画を使った授業の様子（三重西小学校 3年生）



○ふるさとマップMie流



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 県

別紙添付資料

地区内 No	1	事業名	竹谷川桜並木の地域保全活動への樹勢回復支援による魅力アップ
--------	---	-----	-------------------------------

1. 課題と方策			
・最大の観光資源である竹谷川の桜並木は樹齢 40 年近くになり、樹木医による桜並木の全木診断から継続的な土壌改良・施肥や伐採・剪定等が長寿化に必要なとの診断が出ている。 ・診断結果に基づく土壌改良・施肥・枝伐採等により地域の保全活動への樹勢回復支援を行う。 その一環として、県小学校生の授業 1 時限の中で、地域保全活動団体「竹谷川の桜と桜を守る会」代表による竹谷川 桜並木の歴史講義に続き、一緒に土壌改良・施肥を体験してもらう			
2. 実施内容		実施状況	■実施 □中止→ □コロナ/□その他
		実施方法（委託の場合は委託先）	□直営 ■委託（樹木医・造園業者）
（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）			
令和元年度地域活動費で実施した樹木医による桜並木の全木診断結果に基づき、以下の事業を行った。 （1）竹谷川桜並木の地域保全活動への樹勢回復支援事業 地域が大切に育んできた経緯があることから、全て樹木医指導の下で委託事業として実施した。 ① 樹勢回復のための枝伐採・剪定（令和 4 年 1 月、3 月） ② 桜並木の全木診断を実施（令和 4 年 3 月） ③ 小学生による体験学習（新型コロナウイルス感染症拡大のため中止） （2）地域保全活動団体の支援 地域保全活動団体の保全活動に対して草刈り刃・手袋等資材等の支援を行った。			
3. 事業費実績		1,711 千円	
金額単位：円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
竹谷川桜並木の地域保全活動への樹勢回復支援による魅力アップ	その他委託料	1,619,970	竹谷川桜並木の地域保全活動への樹勢回復支援事業 ・ 剪定業務委託 1,144,000 円 ・ 保全・樹勢回復業務委託 475,970 円
地域保全活動団体の支援	消耗品	90,244	草刈り刃 70 枚、ゴム手袋 50 双
合 計		1,710,214	
4. 効果		指標	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）
			館長権限予算事業としては終了し、実施した樹木診断に基づく土壌改良・施肥・枝伐採等による地域保全活動への樹勢回復支援が活かされていくよう、今後も地域保全活動を継続的に支援していく。
指標	目標	実績(見込)	
参加者数	90 人	30 人	

(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付)



竹谷川桜並木の剪定業務委託

作業前

NO-100



作業中



完 成

令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 県

別紙添付資料

地区内 No	2	事業名	地域防災を担う女性人材の育成と女性の視点を踏まえた防災の普及
--------	---	-----	--------------------------------

1. 課題と方策			
地域を担う女性防災の人材が不足している。 地域の女性防災グループの女性の視点を踏まえた防災の取り組みを支援し、地域防災を担う女性人材を育成すると共に、地域での女性防災の普及を図る。			
2. 実施内容		実施状況	■実施 □中止→ □コロナ／□その他
		実施方法（委託の場合は委託先）	□直営 ■委託（NPO 法人）
（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）			
育成会の活動について、事業実施に苦勞されている現状がある。楽しみながら学ぶ防災イベント（「イザ！かえるキャラバン」）を令和4年度に開催するための事前講習会を実施し、育成会の新事業として新たな防災イベントを定着させていくことで育成会活動の活性化を図るとともに、地域防災を担う女性人材の育成につなげる。 講習会実施委託（「イザ！かえるキャラバン」事前講習会委託）（令和4年3月） 講師報酬金（主任×1人+補佐×6人）×1回（令和4年3月） 講座資材（耐震グッズ、非常食実演用食材等）（令和4年3月）			
3. 事業費実績		267 千円	
金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
講習会実施委託	その他委託料	212,520	女性防災グループ 耐震グッズ、非常食等
講師報酬	報酬費	25,000	
講座資材	消耗品	29,004	
合 計		266,524	
4. 効果		指標	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）
指標	目標	実績(見込)	地域防災活動の活性化をねらった防災プロジェクトとして、令和4年度に館長権限予算を活用して「イザ！かえるキャラバン」を実施する。
参加者数	50 人	20 人	

(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付)

当日の様子

★イザ！カエルキャラバン！説明の様子

前半は、イザ！カエルキャラバン！の成り立ちや、これまでの全国各地での実施事例、地域でのローカライズ事例などを座学形式でお伝えしました。みなさん熱心にメモを取っていたのが印象的でした。



★プログラム実演の様子（水書きせかえゲーム）

当日の子どもたちの目線になって、せかえゲームの要領で水書き時の避難の服装を考えるプログラムを体験しました。よくある子どもたちの間違え方なども併せてお伝えすることで当日の運営側の目線も持っていただけたと思います。



★プログラム実演の様子（毛布で担架タイムトライアル）

体を平身起こして毛布の上に横せざるや、端をくるくる巻いて担架にする技などを直接レクチャーしました。またどのプログラムも、被災者へのヒアリングが基になっていることも併せて伝えることで、楽しく"しっかり"学べることを感じてもらいました。



★プログラム実演の様子（ゴミ袋でポンチョづくり）

ゴミ袋とハサミがあればできる「ゴミ袋ポンチョづくり」を体験しました。あらゆる工作プログラムに共通する「作り終えたものにデコレーションすることで自分仕様となり、子どもたちが捨てずに持って帰る」というツボも併せてお伝えしました。



★プログラム実演の様子（応急手当ワークショップ）

自由に直接触れないためにポリ袋をかぶせることや、患者に座ってもらえることで患部を心臓より高い位置に持っていくことなどのポイントをお伝えしながら実演しました。



以上

八郷

防災地図作成事業

令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 八郷

地区内 No 2 事業名 八郷地区ドローン活用事業

1. 課題と方策

【課題】

八郷地区は、中山間地域を宅地化したところも多く、また朝明川が地域を横断していることなど、その地形上の特徴から、地区内に多くの急傾斜地危険場所が存在する。令和元年度には、浸水被害も発生しており、地域の防災に関する関心は高い。

災害時、被害状況を正確に確認することは、その後の対応を迅速に行う上で非常に重要である。現状では、地域住民からの情報提供や市の職員による情報収集で対応しているが、災害時、被害状況を正確に把握する手段を増やすことは非常に有効である。

【方策】

災害の状況把握のためにドローンを活用し、災害時に職員が操作し、写真や動画による情報を安全な位置から正確に収集することを可能にする。

また、地域のまちづくりに関係する団体に、当該ドローンを貸し出し、ドローンの映像を、それぞれの活動に活かすことで、まちづくりの幅を広げる。安全かつ適正に操作するスキルを身につけさせるため、地域の関係者から希望を募って、それらを対象に講習会を実施する。

2. 実施内容	実施状況	■実施 □中止→ □コロナ/□その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	■直営 ■委託（メディアネット四日市）

（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）

- ① ドローン（DJI Phantom4 Pro）を購入した。
- ② センター職員、地域マネージャー、八郷地区防災連絡協議会、八郷地区消防団の4名が、操作研修を受け、ドローンに関し必要な知識及び操作技能について、研修を受けた。
- ③ 災害時に職員が操作し、写真や動画による情報を安全な位置から正確に収集することを可能になり、地域の防災力の向上につながった。

3. 事業費実績

千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
ドローン購入	備品購入費	328,405 円	
合 計			

4. 効果 指標 5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)

今後もドローンの操作が可能な人材の育成が必要であることから、講習会の開催を継続していく。

(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付)

令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 下野

(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を添付)

地区内 No	1	事業名	楽しく学ぶ防災キャラバン
--------	---	-----	--------------

1. 課題と方策			
子ども自身が年長者と関わりながら地区の防災について学ぶことで、自身の防災意識の向上、世代間交流の促進、次世代後継者としての意識醸成・育成、地区全体の防災意識の向上を図る。			
2. 実施内容	実施状況	■実施 □中止→ □コロナ／□その他	
	実施方法（委託の場合は委託先）	□直営 ■委託（下野地区連合自治会）	
（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）			
コロナ過ではあったが、小学校のなかでも特に防災教育に力を入れている4年生を対象として、昨年と同じ講師を招き昨年の内容を継続させ、地区防災協議会および地区青少年育成委員会の役員も指導に当たって感染防止対策に配慮した形で実施した。 ・日 時 令和3年10月12日（火） ・場 所 下野小学校体育館 ・講 師 減災環境デザイン室 室崎友輔代表 下野地区防災協議会 藤谷会長 下野地区青少年育成委員会 市川会長 ・内 容 地区の防災や災害時に備えての考え方や準備、実際に災害が起きた場合の実際の対応について学習し、自身を守ることの大切さと防災意識の向上をはかった。 《プログラム》 （1）オリエンテーション・防災体操・自然災害について・防災クイズ （2）ロープワーク （3）ダンボール間仕切り・スツールづくり （4）紙食器づくり			
3. 事業費実績		80千円	
金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
楽しく学ぶ防災キャラバン	委託料	80,000	ロープ等教材
			コロナウイルス感染症対策
			講師謝礼・交通費
			事務費
合 計		80,000	
4. 効果		指標	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）
指標	目標	実績(見込)	継続事業として取り組んできた事業で今年度で3年目となることから事業としては完了となる。 しかし、地域防災意識向上と担い手育成面からも有用であり、児童生徒にも好評であることから地域行事としての定着に向け継続した働きかけを行っていきたい。
参加者	75名	75名	



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 下野

地区内 No 2 事業名 朝明川ウォーターフロント構想イメージ図の作成

1. 課題と方策

桜並木があるなど地区住民の散策の場所として親しまれ、多くの住民から地区を代表する資源と考えられている朝明川周辺について、周遊できる散策道や子供が遊び大人も楽しめるような空間を整備すべく、ウォーターフロント構想の具現化を図る。
(下野地区まちづくり構想における策定事項、都市計画マスタープラン掲載事項)

2. 実施内容

実施状況 ■実施 □中止→ □コロナ／□その他
実施方法（委託の場合は委託先） □直営 ■委託（下野地区まちづくり委員会）

(具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください)

令和4年1月20日（木） 第1回検討会（課題の整理）
・現地確認 ・課題の出し合い ・出し合った課題の整理

令和4年2月9日（水） 第2回検討会（大きな方向性の検討）
・第1回の課題整理の確認
・課題整理を踏まえ、大きな方向性に関する意見の出し合い
・大きな方向性に関する意見の整理
・方向性に沿って、具体的な空間整備イメージのアイデアを出し合い

令和4年3月2日（水） 第3回検討会（空間整備イメージの検討）
・第2回の具体的な空間整備イメージのアイデアの整備結果を確認
・アイデアの整理結果を踏まえ、具体的な空間整備イメージについての意見の出し合い
・具体的な空間整備イメージの意見を整理し、内容を決定

成果品：ディスカッションペーパー

3. 事業費実績

495千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
朝明川整備構想イメージ検討	委託料	495,000	検討方法の企画
			検討会の開催
			資料のとりまとめ
			イメージイラスト作成
合 計		495,000	

4. 効果

指標

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)	下野地区まちづくり委員会と連携し、イベント開催等も含んだ河川空間活用につなげていく。構想をまとめたイメージ図が、ウォーターフロント構想の実現に向けた関係機関への働きかけのベースとなることを期待。
イメージの具現化	同左	イメージ図完成	
河川空間の再認識	同左	地域住民への周知	

令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 大矢知

地区内 No 1 事業名 朝明川自然学習・身近な交流

1. 課題と方策

大矢知地区内の朝明川の散策路の整備や、地域の松林の整備で、発生した伐採竹や間伐材を利用し、自然からなる産物から、ミニ門松を作り、3R (Reduce (リデュース)、Reuse (リユース)、Recycle (リサイクル)) の中の、Recycle (リサイクル) に基づき、ごみの減量化に少しでも、協力する。また古くからの習わしでもある門松を作成することにより、古くからの伝承及地元愛を高める。

2. 実施内容

実施状況	☒ 実施 ☐ 中止→ ☐ コロナ/□その他
実施方法（委託の場合は委託先）	☒ 直営 ☐ 委託（ ）

（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）
 昨年度より、スタッフの事前体験から準備をし、新型コロナウイルス感染症予防対策も行い、実施した。朝明川からの竹を使い、講師の指導を受けながら、いかに地元の素材を使いながら良く見せるか、創意工夫をする中で、新たに地元に対する愛が育まれた。また、創意工夫を行う中で、参加者間での、新しい繋がりが、古くからの伝承技術も身についた。

3. 事業費実績

19千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
ミニ門松づくり	講師報償費	6,000	
	需用費	12,929	葉ボタン、センリョウ
合 計			

4. 効果 指標

指標	目標	実績(見込)
参加人数	30名	25名

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

完成した自作のミニ門松について、満足度が高く、新しい交流も出来たので、来年度も開催して欲しいとの声が上がった。経費捻出先の問題が解決しておらず、来年度開催は不透明。

(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付)



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

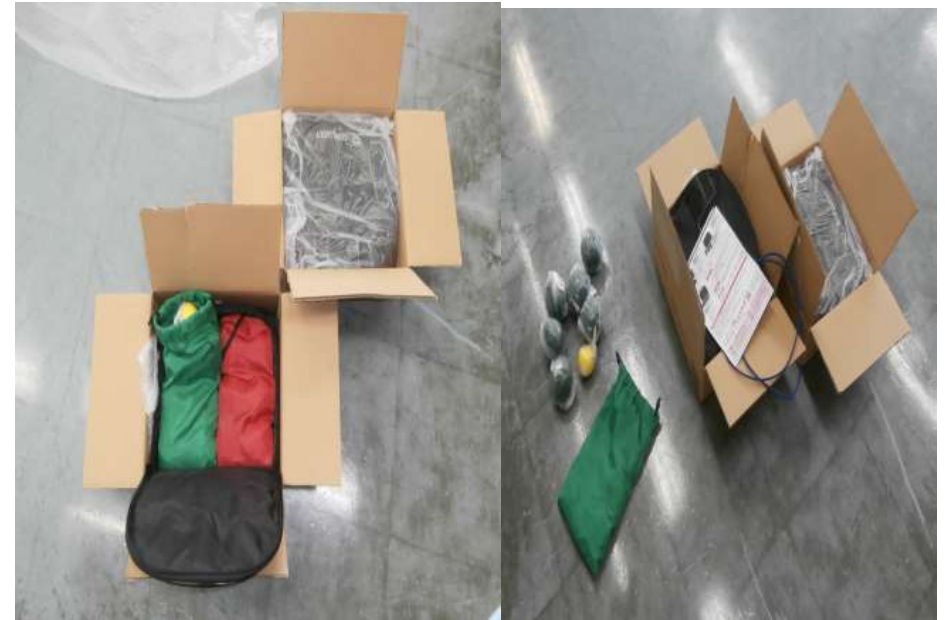
地区名 大矢知

地区内 No	3	事業名	わいわいがやがや
--------	---	-----	----------

1. 課題と方策																																	
地域活動として活動している「健康吹き矢教室」が、令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大予防（飛沫拡散予防）の観点から開催することが不可能となり、人と人との繋がり場として地域活動として事業が困難となっているなか、新たに人と人との繋がり場を絶やさぬ為、飛沫感染のリスクが低いことにより、感染症予防対策を実施しやすい「ボッチャ体験教室」を実施する。																																	
2. 実施内容	実施状況	☐ 実施 ☒ 中止→ ☒ コロナノ口その他																															
	実施方法（委託の場合は委託先）	☒ 直営 ☐ 委託（ ）																															
（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください） 地域活動として活動している「健康吹き矢教室」のスタッフを中心に、「ボッチャ体験教室」を実施し、人と人との繋がり、世代間交流の場を提供し、軽運動としても健康づくりの一役も兼ねる。 また、ニュースポーツである為、競技指導については、大矢知地区スポーツ推進委員会にお願いし、ルールや競の技術向上を図る。 今回、東京オリンピック・パラリンピックの影響もあり、館長権限予算採択決定後、用具について発注するものの、納品までかなりの時間がかかった。用具納品後、協議指導者（大矢知地区スポーツ推進員）、会場（地区市民センター大会議室）、地区だよりによる募集掲載を調整し、令和4年1月30日の開催としたが、まん延防止等重点措置が発出され、市の自主事業は原則中止の対応を鑑み、同措置期間中の開催は中止することとなった。 まん延防止等重点措置期間は延長された2月7日で解除となるが、上記指導者、会場、地区だよりでの募集告知の調整がつかず、年度内開催は不可能になった。																																	
3. 事業費実績		60,540 円																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業項目(種目)</th> <th>支出科目</th> <th>支出金額</th> <th>金額単位:円 内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">ボッチャ体験教室</td> <td>需用費</td> <td>37,840</td> <td>室内用ソフト球 C セット</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>需用費</td> <td>22,700</td> <td>ボッチャターゲットマット</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td></td> <td>60,540</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業項目(種目)		支出科目	支出金額	金額単位:円 内訳	ボッチャ体験教室		需用費	37,840	室内用ソフト球 C セット			需用費	22,700	ボッチャターゲットマット											合 計			60,540	
事業項目(種目)		支出科目	支出金額	金額単位:円 内訳																													
ボッチャ体験教室		需用費	37,840	室内用ソフト球 C セット																													
		需用費	22,700	ボッチャターゲットマット																													
合 計			60,540																														
4. 効果		指標	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）																														
指標	目標	実績(見込)	今年度開催予定時にお手伝いしていただくスタッフの皆様は、来年度においては、自主開催で「ボッチャ体験教室」行う意気込みがある。 開催にかかる費用面の確保は、見込が立っていないが、現在交流の場が立たれていることに対して、代替え行事としての開催は必要と思われる。																														

(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付)

室内用ソフト球 C セット



ボッチャターゲットマット



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 河原田

地区内 No	1	事業名	河原田地区の歴史・文化を次世代に伝える事業 ～①空き家活用による交流拠点づくりと運用～
--------	---	-----	--

1. 課題と方策

地域活動への幅広い世代の参加を促進するという課題に対して、特に男性高齢者層の興味、関心が高いと考えられる「地域の歴史・文化」にスポットをあてた取り組みとして、その活動拠点となる「場」の整備を昨年度から開始し、一部運用を開始した「ふるさとサロンかわらだ」について、引き続き環境整備を継続するとともに、運用面の充実を図る。

2. 実施内容	実施状況	■実施 ■中止→ ■コロナ/口その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	口直営 ■委託（河原田地区まちづくり推進協議会）

（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）

・各月4～5回、ふるさとサロンかわらだを会場として、下記の活動に取り組んだ（数字は企画調書の実施方法の番号）。

1. 環境整備作業 のべ13回
 2. 展示資料の整理・調査および研究活動 のべ46回
 4. 語り部による歴史伝承活動 のべ 5回
 6. 小中学生の郷土史学習支援 のべ 1回
- 合計 54回（重複あり） 721名参加（数値は2月末現在）
（参加者のうち、男性が占める割合は5割強）

歴史資料の展示コーナーは未完成ながら、歴史カフェとして運用を開始し、展示コーナーの資料整理、調査研究活動のほか、自分史の発表や史跡訪問、収集した河原田地区に関わるビデオ上映など様々な活動を行う中で、参加者間の交流が図られた。

なお、3. 企画展、歴史講座、5. 地区の郷土史編纂については、コロナ感染症拡大防止の観点等から実施しなかった。

3. 事業費実績 168千円

金額単位：円			
事業項目（種目）	支出科目	支出金額	内訳
施設の整備事業	委託費	168,044-	消耗品購入
合 計		168,044-	

4. 効果			5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）	
指標	年間目標利用者数		郷土資料館としての整備、運用面の充実とも、今後も継続して取り組まれていくことになるが、この1年間施設運営を継続できた実績から、施設として、ある程度軌道に乗ったとも判断できる。	
指標	目標	実績（見込）	今後は、コロナ禍で実施できなかった歴史講座や郷土史の編纂事業などのソフト事業の支援を行う。	
年間利用者数	500人	786人（見込）		

（別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付）



環境整備作業 11月6日



地域の歴史伝承活動 4月14日



史跡探訪（高岡城跡）4月28日



史跡探訪（楠城跡）4月28日



連鶴教室 10月16日



ふるさと散策（川尻町・正久寺）11月6日



健康塾 12月4日



市社協取材対応（郷土資料室）9月3日

令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 河原田

地区内 No	2	事業名	河原田地区の歴史・文化を次世代に伝える事業 ～②地域の魅力発信・伝承事業～
--------	---	-----	--

1. 課題と方策

河原田地区は、市指定文化財が市内で唯一存在しない地区であることから、地区内の文化財について、地域住民に周知するとともに、地区外へ発信することで、さらに地域住民の関心を高め、愛着心を醸成するという課題に対して、地区内に存在する文化財を掘り起こし、それらの情報について、より詳しく、またわかりやすい形で、さまざまな媒体を通して発信を行う。

2. 実施内容	実施状況	■実施 ■中止→ ■コロナ/□その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	■直営 ■委託（河原田地区まちづくり推進協議会）

（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）

・河原田地区にまつわる歴史を学び、地域の魅力となる事物について、地区内外に広く発信するため、下記の活動を行った。

(1) 名所旧跡（地区の文化財）紹介看板作成・設置

10月 自治会長会議にて、各自治会に看板設置場所の選定及び原稿作成を依頼。

3月 看板設置業者にて印刷、設置作業。地区内6か所に名所旧跡看板を設置。

(2) 河原田地区案内マップのリニューアル

10月 自治会長会議にて新しいマップ作成委員選出依頼。作成委員会を9回開催（のべ62人出席）。

12月 「私の好きな河原田」アンケートを実施。670件の回答を得た。

3月 納品。全戸配布とする。

コロナ禍によりイベント等の開催がなかったため、実施せず。

(4) 竹あかり作成および点灯イベント、後継者育成

10月～12月 竹の伐だし、焼締め作業、竹灯り作成教室開催（地区内2回、河原田小11回62人参加）

年末年始 竹灯りの飾り付け及び点灯展示（観覧者数不明）。点灯イベントはコロナ禍のため開催せず。

※地区案内マップ（河原田いまマップ）は、地図上で案内する場所や施設について、河原田在住、在学の方にアンケートを実施し、そこから掲載項目を選定することで、より関心、愛着をもっていただくよう工夫した。またアンケート結果は、今後のまちづくりに生かせるものとして記録を残すこととなった。また地図上には、今年度作成した名所旧跡案内看板の設置場所も掲載するとともに、地区広報やホームページ等でも紹介し、周知を行う。

※なお、(3)地区紹介の映像・動画作成・ホームページ掲載、(5)河原田名物（お土産品）の創出、(6)忘帰處、伊勢街道景観整備については、コロナ禍によりイベント等の開催がなく、実施せず。

3. 事業費実績 973千円

金額単位：円			
事業項目（種目）	支出科目	支出金額	内訳
名所旧跡案内看板作成・設置	委託費	466,400-	
地区案内マップリニューアル	委託費	385,000-	印刷費
竹灯り作成、展示	委託費	121,357-	消耗品費
合 計		972,757-	

4. 効果 指標 事業参加者数 5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績（見込）
事業参加者数	100人	794人+α

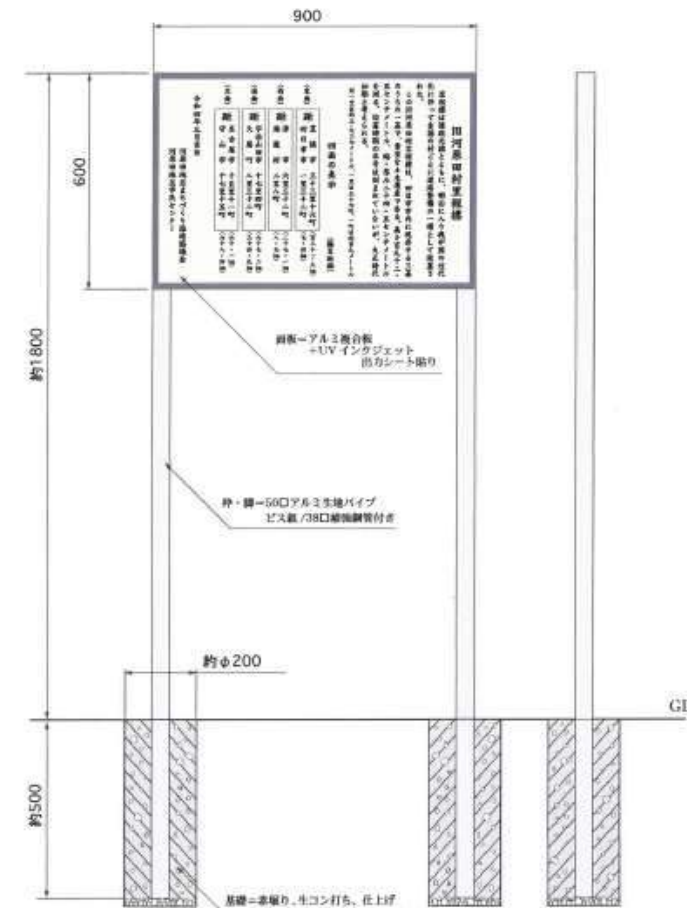
看板や地区の作成は一過性事業であるが、そこで収集されたアンケート結果等の情報は、これからのまちづくりの資料として活用する。また委託事業を通して、住民が主体的にまちづくり活動を推進する機会の一つとして位置付けており、今後もその活動が定着できるよう支援を行っていく。

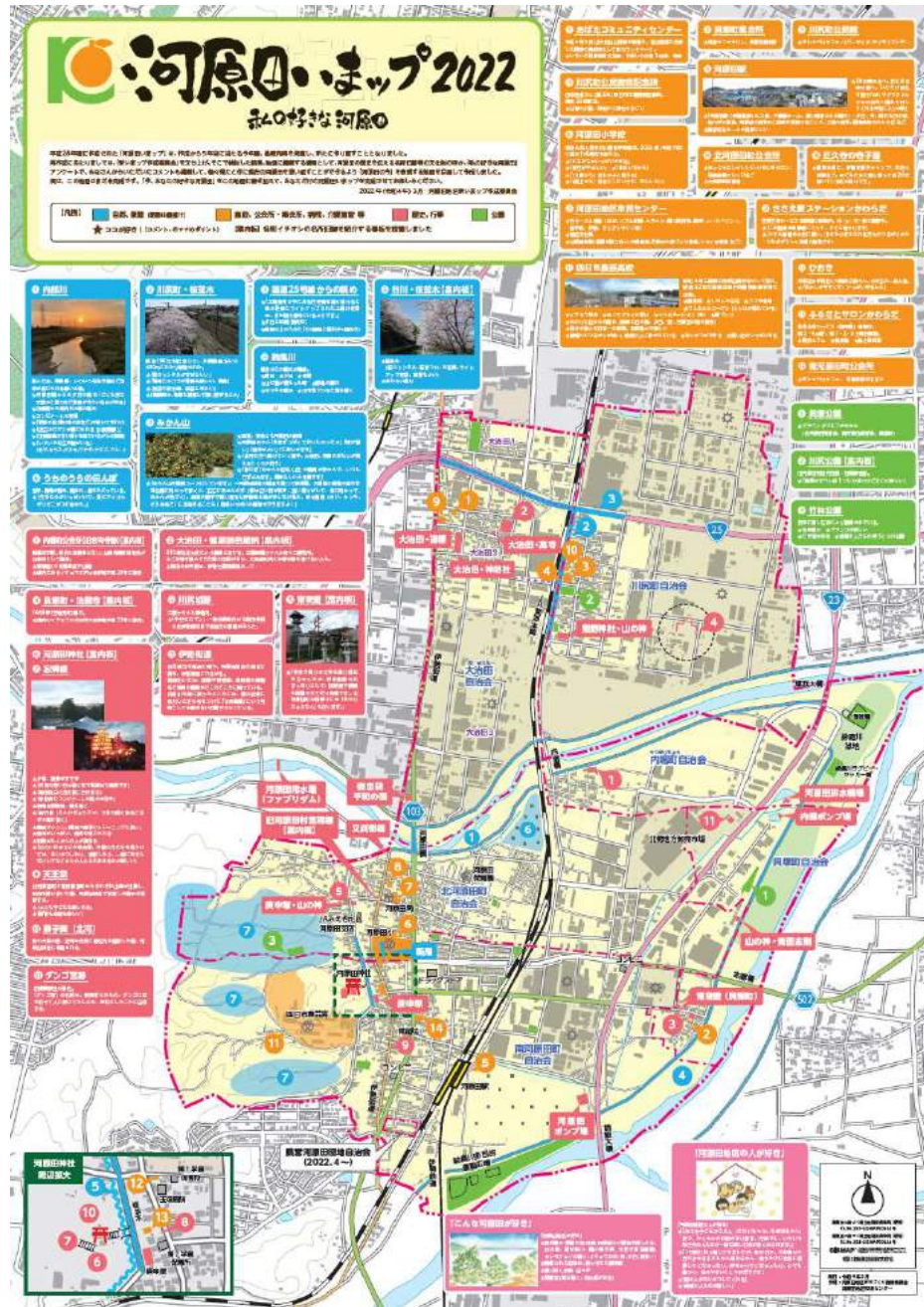
（別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付）

河原田地区名所旧跡紹介看板 設置場所一覧表

町名	設置場所	文案作成者
北河原田町	旧河原田村里程標（※）	
南河原田町	河原田神社と谷川の桜堤	
貝塚町	法蔵寺の大銀杏	
内堀町	吉祥寺跡とイチヨウの木	
川尻町	川尻公園	
大治田	蟹葉師密蔵院	

【河原田地区名所旧跡紹介看板仕様図案】 sc=1/10、6ヶ所製作設置





令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 水沢

地区内 No 1 事業名 水沢地域情報発信事業

1. 課題と方策

四日市の中でも自然豊かな地域であるが、その情報を市の内外に十分発信できていない。豊かな環境を地区外の方にPRする取り組みを行う。

2. 実施内容

実施状況 ■実施 □中止→ □コロナ／□その他

実施方法（委託の場合は委託先） ■直営 ■委託（水沢史跡、名勝保存会）

（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）

(1) 具体の事業内容

①ドローンの機体及び消耗品の購入（10月）

②操縦者養成講座の実施

- 第1期講習会（11月～1月） 座学、操作研修及び画像編集講座（4名）
○第2期講習会（1月～3月） 座学、操作研修及び画像編集講座（2名）

③水沢地区社会福祉協議会のHP内改修実施

④名所へのQRコード看板

- 看板案内文の作成及び設置
○QR看板コードを現地に設置（8か所）し、スマートフォン等でQRコードを読み込んだ際に地区社協HPを通じた名所に関する情報が確認できるようにした。

(2) 成果

8月に実施した生涯学習事業（ドローン飛行親子体験会）の参加者、自主防災グループ関係者、茶業従事者など従来地域活動に参加されていない方が操縦者養成講座に参加され、飛行訓練の自主活動も行われるなど、新型コロナウィルス禍のなかで今後の地域活動に繋がる可能性のある人材と接触できた。

3. 事業費実績

993,300 円

金額単位:円

事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
水沢地域情報発信事業	委託料	727,100	講習、看板設置経費等
	備品購入費	266,200	カメラ付きドローン
合 計		993,300	

4. 効果

指標

操縦資格者の育成

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)
操縦講習参加者	8	6

操縦者養成講座の修了者を増やし、地域の情報の発信という目的に向けた取り組みを継続する。

①センターで購入したドローン



②第1期養成講座座学及び操作入門研修



基礎操作研修



④QRコード看板の設置



【関連】 8月1日 ドローン体験会親子7組（生涯学習講座）



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 水沢

地区内 No	3	事業名	水沢地区の見どころを歩く事業
--------	---	-----	----------------

1. 課題と方策

地域の観光資源を活かしたまちの魅力の発信が必要であり、11月に「もみじ祭り」を実施しているが1日限りのイベントとなっており、四季を通じた魅力発信方法の工夫が必要である。

2. 実施内容	実施状況	■実施 □中止→ □コロナ／□その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	□直営 ■委託（水沢地区社会福祉協議会）

（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）

(1) 具体的事业内容

もみじ谷や宮妻峽など東海自然歩道によって繋がる見どころを歩くことで、健康の維持増進を図るとともに豊かな自然を体感してもらい、観光資源の魅力を発信する。

12月5日（日）に「すいざわ歩こう会」を開催し、地区内外から97名の参加者があった。

(2) 成果

コロナウィルス禍での開催であったが天候にも恵まれ、地区内参加者からはコミュニティの面から、地区外の参加者からは良い季節の水沢の魅力を実感できた。

また、停滞しがちな地域コミュニティ活動の運営やノウハウの継承という面で貴重な機会となった。

3. 事業費実績

227千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
水沢地区の見どころを歩く事業	委託料	226,420	ビブス、参加賞、地図作成費
合 計			

4. 効果

指標

事業参加者

指標	目標	実績(見込)
参加者	120	97

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

地区内の他事業との協働、地区内の公共施設との協働により観光資源の魅力を発信する取り組みへの支援を継続する。

スタッフ打ち合わせ



当日（12月5日）の様子



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 海蔵

『地区広報 かいぞう (第68号〔令和4年3月〕)』 P.6

地区内 No	2	事業名	つながる「海蔵」事業・・・「花」
--------	---	-----	------------------

1. 課題と方策

① 毎年3月から4月にかけて、海蔵川桜まつりが開催されるが、このまつりの企画運営が地域のボランティアで構成される実行委員会を実施されている事実があまり知られておらず、PRを展開する。

② ボランティアによる堀川菖蒲園の管理運営や菖蒲まつりに関わる人が固定化しており、関心の薄い地域住民も多いため、担い手の確保や技術の伝承を図る。

2. 実施内容

実施状況

実施方法（委託の場合は委託先）

☒実施

☐中止→

☐コロナ／☐その他

☒直営

☒委託（株式会社名阪造園）

【具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください】

①ー1 秋、冬とも、清掃日の前週に「桜の枝切り」を行い、各町自治会・育成会・青少年育成協議会の方々に収集、積み込みをお世話いただきました。

海蔵川堤防清掃：（秋） 令和3年11月7日（日）9:00～
第19回「身近な自然を愛する県民デー」 440名
（冬） 令和4年3月6日（日）9:00～
第32回「皆できれいに海蔵川の日」 439名

①ー2 昨年度に調べた看板盤面を用い、老朽化した看板を更新しました。

『東海道』の一里塚跡周辺であることから、東海道ウォークの方も当該看板をご覧になられ、海蔵川左岸桜堤を西に向かって進まれ、その先の『堀川菖蒲園』まで散策される姿を目にします。

② 新しい会員も加わり、1～2回/月の育成活動（除草、株分け、植付け）を「堀川菖蒲園花菖蒲育成会」の会員で取り組みました。

3. 事業費実績

260 千円

金額単位:円

事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
委託料	その他委託料	88,000	看板製作及び設置
		171,600	危険木除却
合 計		259,600	

4. 効果

指標

指標	目標	実績(見込)
—	—	—
—	—	—

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

海蔵川の桜堤が、地域の手により活動を通じて大切に守られ、また、その取り組みが継続できるようサポートする。

海蔵 この一年

令和3年度も新型コロナウイルス禍で多くの取組みが中止となりました。

3月下旬～4月上旬 海蔵川堤防



昨年に続いて桜まつりは中止となりましたが、大勢の方が花見に来られました。通行案内表示等を設置しました。
【桜まつり実行委員会】

5月19日 こきぶり団子作り



すりおろした玉ねぎ、ホウ酸、小麦粉、砂糖、牛乳を混ぜ、水を足しながら耳たぶほどの固さになるまでこねます。その後、丸めて乾燥させます。(左上写真)
【婦人会】

5月28日 土木要望現地確認



道路や側溝の整備、カーブミラーの設置などの自治会要望箇所の現地確認を行い、優先実施箇所の工事を行いました。
【連合自治会】

6月上旬～中旬 堀川菖蒲園



昨年に続いて菖蒲まつりは中止となりましたが、開花時期には多くの方が来られました。年間を通して管理活動を行いました。
【堀川菖蒲園花菖蒲育成会】

6月19日 海蔵川救命ブイ点検



3月から8月にかけて海蔵川は農地の塩害防止のため新開橋下流の河口堰が閉じられ水位が上がります。その間の水難を防止する救命ブイの点検を行いました。
【青少年育成協議会】

9月19日・20日 敬老のお祝い



令和3年9月20日現在で満70歳以上となられた2,125人の方へ、お祝いの品の羊羹をお届けしました。
【社会福祉協議会・連合自治会】

11月7日・3月6日 海蔵川・三滝川堤防清掃



自治会や婦人会、青少年育成協議会の皆さんの協力を得て実施しました。事前に剪定した桜の枝や伐採雑木も処理しました。
【社会福祉協議会 環境部】

10月13日・1月26日 新しい本を購入



本年度は99冊購入しました。学校帰りの児童や母子を中心に文庫を利用しています。
【かいぞう文庫】

2月26日 第1回海蔵地区を歩こう会



海蔵小学校体育館をスタート・ゴール地点として、西阿倉川地内と東阿倉川地内の寺社や国指定天然記念物のイヌナシ・アイナシの自生地等を巡りました。4カ所でスタンプカードに印をもらい約3.5kmのコースを、幼児から高齢者まで50組180人が和やかに歩きました。ゴール後には、千本引きやニュースポーツを楽しんだり、クイズの答え合わせやインスタグラム投稿者への特別賞もありました。

地区事業企画委員会とまちづくり協議会広報部の協力を得て、スタッフ40人が運営に当たりました。
【社会福祉協議会 健康推進部】

月曜日～土曜日他 いきいきサロン
(新型コロナウイルスまん延防止等重点措置期間は中止しました)



パステルアート、折り紙、キルト、体操、踊り、鑑み物、パソコン、カラオケ、川柳、お達者ストレッチなど15のサロンを、定期的日程を組み、感染予防対策を取って行ないました。
【くすの木サロン】

海蔵川堤防清掃
危険木除却



看板設置



菖蒲園育成活動



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 海蔵

『地区広報 かいぞう（第68号〔令和4年3月〕）』 P.7

地区内 No	3	事業名	つながる「海蔵」事業・・・「道」
--------	---	-----	------------------

1. 課題と方策																															
地区マス「海蔵地区都市計画マスタープラン（地域地区別構想）平成26年10月」にある『海蔵川緑地』、『東海道』の整備を地域と一緒に「都市マス委員会」で検討し、海蔵川の河川整備や東海道の道路整備（案）を管理者（三重県、四日市市）へ提案する。																															
2. 実施内容	実施状況	☒ 実施 ☐ 中止→ ☐ コロナノ/□その他																													
	実施方法（委託の場合は委託先）	☒ 直営 ☐ 委託（ ）																													
（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）																															
昨年度（令和2年度）に引続き、「都市マス委員会」において市街地整備・公園課と共に『海蔵川緑地』の整備検討を進めてきたが、今年度に整備を予定した箇所が、国土交通省施行の国道1号海蔵橋耐震補強工事の作業ヤードとして使用されることとなり、整備時期が来年度に送られることとなった。 しかし、昨年度の協議を経て整備に至った「芝張り」ゾーンの青い芽吹きや、海蔵橋直下表法面に新設した階段の便利さを喜ぶ声が多く聞かれるなど、今後の整備計画に対する地域の期待は大きい。 概略計画案は既に整っており、昨年度の整備においても、対岸の橋北地区に残る『東海道』に繋がるライン（とおり）を河川内（高水敷）に明示する工事を進めて貰うなど、その『東海道』が地区内に唯一残る箇所（多度神社前）の整備については、今後、関係課（道路建設課）と共に計画（プラン）を考えていきたい。																															
3. 事業費実績		0 千円																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業項目(種目)</th> <th>支出科目</th> <th>支出金額</th> <th>金額単位:円 内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>その他委託料</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業項目(種目)	支出科目	支出金額	金額単位:円 内訳	委託料	その他委託料	0																		合 計		0	
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	金額単位:円 内訳																												
委託料	その他委託料	0																													
合 計		0																													
4. 効果		5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）																													
指標	目標	実績(見込)	「都市マス委員会」における新たな部会の立上げ及び進行をサポートする必要がある。																												
—	—	—																													
—	—	—																													

(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付)

海蔵地区を走ってみた

昨今のコロナ禍でお家時間が増えて、私みたいに運動不足になられた方もみえるのではないのでしょうか。そんな中、簡単にできる運動がジョギングだと思います。でも、どこを走ったらいいのか、どれだけの距離を走ったのか分からないからと、なかなか走り出せないという方に、筆者の主観となりますがおすすめのジョギングコースを走ってきたので紹介いたします。

海蔵といえばやっぱり桜まつりが開催される海蔵川堤防だと思っています。

このコースのおすすめの点は

1. 景色が良い。桜並木はもちろんのこと、菖蒲園、一里塚記念碑、近鉄橋梁など見どころがいっぱいです。
2. 信号もなく、車の通りも少ない。
3. 桜の木で影が多く、暑い日でも日差しを避けられる。
4. 昨年度、整備された海蔵橋下に設置されたベンチなど休憩場所がある。

などがあり、走りやすい道になっています。

コースの内容ですが①の桜まつり入口から東に向かってスタートします。近鉄橋梁、国道一号を潜って越えて②の河川敷へ降りる階段のあるところで約1キロになります。③の突き当たりまで行くと約1.5キロ、折り返してスタートまで戻ると約3キロとなり、適度なジョギングができます。






Y.S

堀川菖蒲園のお手洗いは、平成9年の市制100周年事業の一環として堀川菖蒲園が開設されるのに合わせて設置されました。その後、老朽化が進み、男女の区分も無いなどのことから、海蔵地区連合自治会より市へ改築整備の要望を重ね、昨年2月に多目的トイレもある市内でも最も整備された設備の公衆トイレに改築されました。正面の壁には、「こにゅうどうくん」がいる菖蒲園の陶板が掲げられています。




海蔵橋下左岸に緑地広場

海蔵地区都市計画マスタープランには海蔵川緑地の整備が掲げられています。その一環として、海蔵橋周辺左岸の整備が計画され、昨年度に計画の一部の散策路や芝張りゾーンの整備、ベンチの設置、海蔵橋下通路の階段設置等が行われました。残りの散策路や芝張りゾーンの整備、川沿いの植栽の整備は、来年度に行われる予定です。散策路は、旧東海道の海蔵川に架かっていた橋の位置にも整備され、その表示がされることになっています。海蔵川を訪れる人、東海道を歩く人の休息・憩いの場として利用していただけます。【海蔵地区都市マス委員会】




令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 橋北

地区内 No 1 事業名 橋北 BIG BAND で繋がり！

1. 課題と方策

中心部に近い地域であるが、徒歩しか移動手段がない高齢者が多い。また、地域コミュニティの担い手の育成が課題である。

こうしたなか、身近な場所で、質の高い文化に触れる機会を通じ、人が繋がり、ワクワクするような地域社会づくりを進めることが、課題解決の一つの契機になりうると考えられ、その一例として、地域住民が普段から音楽を通して「繋がり」を醸成することは、大変意義深い。

そこで、住民の音楽活動をサポートし、その成果を披露するとともに、一流の音楽に触れることを目的としたコンサートを開催する。

2. 実施内容

実施状況

■実施 □中止→ □コロナ／□その他

実施方法（委託の場合は委託先）

□直営 ■委託（橋北地区文化事業実行委員会）

（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）

・当初の計画

橋北地区の住民等を対象に BIGBAND コンサートを開催する。昨年度実施できなかった橋北中学校音楽部との共演を実現し、音楽を通じて住民同士の繋がりを深め、文化力の向上を目指す。

（1）プロの音楽家による BIGBAND のコンサート

（2）橋北中学校音楽部とのコラボ演奏

・実施内容

（1）当初予定していた 10 月 31 日（日）が衆議院総選挙となり、令和 4 年 3 月 13 日（日）に延期した。新型コロナウイルスまん延防止等重点措置は解除されたものの、三重県は「再拡大防止重点期間」になった。また、県境をまたぐ移動の自粛が要請され、感染者は高止まりであったことから、無観客でインターネット配信の開催とした。バンドメンバーとスタッフは、1 週間前より健康チェックを実施、前日には抗原検査を行い結果を提出、当日は消毒・換気・3 密回避等の感染予防対策を徹底し実施した。

（2）コロナ禍により実施できなかった。

・結果（成果）

（1）YouTube によるインターネット配信の視聴は 230 回を超えている。ライブ中のチャットではかなりの数の高評価と、有観客ライブでの開催継続を望む声があった。

（2）委託事業は今年度で終了になるが、来年度こそは実現できるように実行委員会に委ねる。

3. 事業費実績

千円

金額単位：円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
橋北ミュージックフェスティバル	委託料	320,000	コンサート開催経費
	消耗品費	48,125	抗原検査キット
合 計		368,125	

4. 効果

指標

指標	目標	実績(見込)
コンサート観客数	200 人	インターネット配信 視聴回数 235 回

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

音楽を通じて人がつながり、地域の世代間交流と文化のまちづくりを進めるための 3 年にわたるビッグバンドコンサートの委託事業は今年度をもって終了する。今後は文化事業実行委員会が名実ともに主体となり継続する予定である。

(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付)

『橋北ミュージックフェス Big Band コンサート』実施状況

実施日時 令和4年3月13日(日) 13:00~14:00

実施場所 橋北中学校音楽室

実施方法 無観客 インターネット配信



音楽室内はバンドメンバーとライブカメラ担当スタッフのみ

音楽室からライブ配信中のムーンライトオーケストラの皆さん



使用前・使用後ともに床・椅子・楽器などの消毒を実施



入室は消毒と人数を制限して



換気と密を避けて演奏できるように打ち合わせを行いました。

令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 橋北

地区内 No 2 事業名 地域で HOKKORI しよう

1. 課題と方策

地域に転入又は転居した子育て中の住民が地域社会で安心して暮らし、子育てできる環境を確保することが求められている。

先輩ママの話を聞き、生活の知恵を学び保護者の不安を解消するとともに、地域社会との繋がりを持ってもらうきっかけの機会を設定する。

2. 実施内容

実施状況	■実施 ■（一部）中止→ ■コロナ／口その他
実施方法（委託の場合は委託先）	■直営 ■委託（橋北地区在宅介護支援センター）

・当初の計画

地区市民センターで月1回程度の子育て世代をターゲットにした講座を開催し、子育て中の住民同士の交流を図るとともに、地域での組織づくりを担う人材発掘を行う。

また、親子で参加できるイベントを年2回実施するなかで「まちかど保健室」の要素も加え、多様な世代の繋がりと心と体の健康の確保を目指す。

・実施内容

- ① ブリザーブドフラワー講座(7/7)、土鍋プリン講座(8/4)、腸活ヨガ講座(11/12)、クリスマス飾り講座(12/7)の計4回の講座を実施し、47名が参加した。
- ② 子育て世代や在介の看護師等とイベントや講座の内容について打ち合わせを行い、子育て世代が参加したくなるイベントや講座を企画した。
- ③ 看護師資格を所有する在介職員が、講座時に日頃の悩みや健康の不安等について相談に乗った。
- ④ イベントについてはお月見ハロウィンと橋北マルシェを企画し、実施に向けて準備していたが、前者は衆議院選挙準備のため、後者はまん延防止等重点措置が延長されたため中止となった。

・結果（成果）

- ① ②幅広い年代の方が参加され、子育て世代の横の繋がりがや世代間交流が図れた。講座の参加者のネットワークで橋北マルシェの店頭に声掛けいただくなど繋がりもできており、今後の発展も期待される。
- ③ イベント時の個別ブースでの開催は出来なかったが、講座中に巡回し悩み事等の相談を実施した。
- ④ 橋北マルシェについては、直前まで開催に向けて準備を進めており、開催を望む声も多数聞かれ地域の期待も大きいため、令和4年度は是非とも開催したいと考えている。

3. 事業費実績

111,886 円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
地域で HOKKORI しよう	報償費		講師報償費
	消耗品費		講座材料費
	印刷製本費		橋北マルシェポスター・チラシ
	賄材料費		講座食材費
	委託料		まちかど保健室委託料
合 計		111,886	

4. 効果

指標

指標	目標	実績(見込)
講座参加者数	68人	47人

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

今年度はコロナの影響でやむなく中止としたが、開催を望む声も多かったため、令和4年度は橋北マルシェを開催し、地域住民の繋がりを深める地区の恒例行事として発展させていきたい。

[1 ブリザーブドフラワー講座]

[令和3年7月7日（水）10:00～11:30 2階会議室]

[講師：諸岡幸子さん（アトリエアリス）、永田奈美さん（ラトゥリエカトリヌ）]



[2 土鍋でプリン作り講座]

[令和3年8月4日（水）10:00～11:30 2階調理室]

[講師：伊藤啓子さん]



[3 腸活ヨガ講座]

[令和3年11月12日(金) 10:00～11:30 2階会議室]

[講師：磐城百萌子さん]



[4 クリスマス飾りづくり講座]

[令和3年12月7日(火) 10:00～11:30 2階会議室]

[講師：諸岡幸子さん(アトリエアリス)、永田奈美さん(ラトゥリエカトリヌ)]



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 中部

地区内 No 1 事業名 東海道パワーアップ事業

1. 課題と方策

中部地区には東海道をはじめとする歴史的・文化的・観光的資源が多数存在するが、住民の意識はそれほど高くないと思われる。東海道の存在感をアップすることで地区の魅力を発信し、市内外の訪問客に対するおもてなしの心を醸成するためにも、こにゅうどうくんプリントののぼりを作成して、東海道沿線への設置を自治会に依頼する。

2. 実施内容

実施状況 ☒実施 ☐中止→ ☐コロナ/□その他
 実施方法（委託の場合は委託先） ☒直営 ☐委託（ ）

こにゅうどうくんプリントの「東海道 ここは四日市」ののぼりを、共同及び浜田の2地区合わせて計116枚作成し、両地区の東海道沿線の自治会にのぼりの設置を依頼した。

前年ののぼりとは異なる色で作成した。濃い色ののぼりは色あせが早く感じられるということもあり、明るいもえぎ色で作成したところ、東海道を引き立て、目立つようになったと好評を得ている。

3. 事業費実績

110千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
東海道のぼり	需用費	99,528	共同地区 58 枚 浜田地区 58 枚
のぼり用ポール	需用費	10,406	
合 計		109,934	

4. 効果

指標

東海道の存在感

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)

東海道のぼりは屋外に設置するため、紫外線や風雨にさらされ退色や老朽化が早い。今後も継続的に購入し、設置することが望まれている。

共同地区



浜田地区



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 楠

地区内 No 1 事業名 KUSUNOKOー楠こどもフェスティバルー

1. 課題と方策

最近10年の楠地区の小学校の児童数は半数近くになるほど、急速に少子化が進んでいる。
一方、保育園、幼稚園のこども園化に対し、保護者の中で不安が拡大している。
こうしたことから、子育て世代から選ばれるまちになるように地域とともに子育て環境の向上を図る

2. 実施内容

実施状況 ☒実施 ☐中止→ ☐コロナ/その他
実施方法（委託の場合は委託先） ☐直営 ☒委託（ ）

令和4年3月22楠こども園、29日子育て支援センターを利用して楠地区内の未就学児及び保護者を対象に、交流イベントを開催することで、保護者の不安解消を図り保護者に対し地域活動への関心を促すと共に、関係団体の連携強化を及び活性化を図ることができた。

- 1 ホルンの演奏
- 2 バルーンアート
- 3 手形アート
- 4 移動児童館
- 5 自治会加入促進の啓発

3. 事業費実績

264 千円

事業項目(種目)		支出科目	支出金額	金額単位:円 内訳
楠っ子フェスティバル		委託料	264,000	
合 計			264,000	

4. 効果

指標

指標	目標	実績(見込)
200名	200名	294名

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

事業は今回をもって終了する。なお、今後楠地区社会づくり推進協議会が子育て支援センターに拠点を設置し、地域との交流を図り新たな取り組みを実施していくこととなった。

移動児童館



手形アート



バルーンアート



(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付)

(3) 写真

楠こどもフェスティバル ―KUSUNOKO―



楠こどもフェスティバル R4.03.22



楠こどもフェスティバル R4.03.29



三軒ママサルビア楽団によるホルン伴奏者のソロ演奏



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 楠

地区内 No 2 事業名 子育て応援ひろば「くすまいる」

1. 課題と方策

最近10年間の楠地区の小学校の児童数は半数近くになるほど、急速に少子化が進んでいる。
また、結婚を機に転入してきた方など、仲間も少なく一人で子育てをすることに不安を感じる保護者の方がおみえになる。

2. 実施内容

実施状況 ☒実施 ☐中止→ ☐コロナ/□その他
実施方法（委託の場合は委託先） ☐直営 ☒委託（ ）

令和4年3月22日楠こども園、29日子育て支援センターを利用して楠地区内の未就学児及び保護者を対象に、こども交流イベントを開催することで、保護者の不安解消を図り保護者に対し地域活動への関心を促すと共に、関係団体の連携強化を及び活性化を図ることができた。

おしゃべりカフェ	8回開催	29組	58名参加
子育て講座	10回	40組	80名
イベント 夏	1回	14組	28名
ハーモニー参加	1回		
こどもフェスティバル参加	1回		

3. 事業費実績

308 千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
子育て応援広場くすまいる	委託料	308,000	
合 計		308,000	

4. 効果

指標

指標	目標	実績(見込)
100名	100名	166名

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

令和3年度に開園したこども園の子育て支援センターに拠点を移し、自主的な活動にしていく。

子育て講座など
夏祭り



ビルビスワーク



G-we



素材あそび



読み聞かせ



手形アート



モスアート



【別紙2】

活動写真

おしゃべりカフェ（フォトブースなど）



令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 楠

地区内 No 3 事業名 まるごとまちごとハザードマップ

1. 課題と方策

鈴鹿川本線と派川に隣接する楠地区においては、ほとんどの場所が最大で3～5mの浸水が想定されており、レベル4の警報発令時にはほとんどの人が安全な場所に避難する必要がある。

しかしながら、浸水に対する危機感が薄く、実際に避難所に避難される方は1%にも満たない。

そこで、住民の目につく場所に最大時の浸水高さの目印を記すことで、最大浸水想定の高さをリアルに体験してもらい避難意識の向上を図る

2. 実施内容

実施状況	☒ 実施 ☐ 中止→ ☐ コロナ/□その他
実施方法（委託の場合は委託先）	☐ 直営 ☒ 委託（ ）

住民の目につく場所に災害時の浸水高さの目印を記すことで、最大浸水想定の高さをリアルに体験してもらい避難意識の向上を図る。今年度は楠駅と北楠駅周辺に指定避難所、津波避難ビル等の案内図を設置した。

3. 事業費実績

165 千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
まるごとまちごとハザードマップ	委託料	165,000	
合 計		165,000	

4. 効果 指標

指標	目標	実績(見込)
2箇所	2箇所	2箇所

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

地域の防災訓練などに活用してもらい、避難場所の再確認と避難意識の向上を図る



◎近鉄楠駅



◎近鉄北楠駅

楠地区マップ揭示状況

(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付)

令和3年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 楠

地区内 No 4 事業名 ともに考える地域のつどい

1. 課題と方策

以前は障害者（児）を支援するボランティア団体（エブリステップ）が存在したが、高齢化等により自然消滅した。

また、民生委員児童委員の改選を機に障害の有無に関わらず住み慣れたこの町で当たり前に暮らしてもらえよう障害者（児）に対する支援を見直そうという流れがあるものの、障害者（児）の把握もできておらず、支援ができていないのが現状である。

2. 実施内容

実施状況

☒実施 ☐中止→ ☐コロナ/□その他

実施方法（委託の場合は委託先）

☐直営 ☒委託（ ）

令和4年3月26日楠福祉会館を利用して、障害について正しい知識をもってもらう啓発を行うとともに、地域の方々と交流できるイベントを開催した。

- 1 ミュージックパレットによるベル演奏
- 2 わかば共同作業所による演劇
- 3 講師による手話体験
- 4 手形アート
- 5 こにゅうどうくんの記念撮影
- 6 あけぼの学園相談コーナー

3. 事業費実績

220 千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
ともに考える地域のつどい	委託料	220,000	
合 計		220,000	

4. 効果

指標

指標	目標	実績(見込)
50名	50名	50名

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

楠地区民生委員協議会障害部会が中心となり、障害者（児）との交流、支援を深めていく。
イベントについては今年度までと考えているが、事業の効果に不足あれば、再実施も検討する。

(別紙添付資料として実施した事業等の写真等を下記に添付)

2) わかば共同作業所による演劇（障がい者）



手形アート作り



聴覚障がいの講師による手話体験



(3) 写真

ハーモニ-とともに考える地域のつどい R04.03.26



1) ミュージックバレットによるペル演奏 (障がい者)

